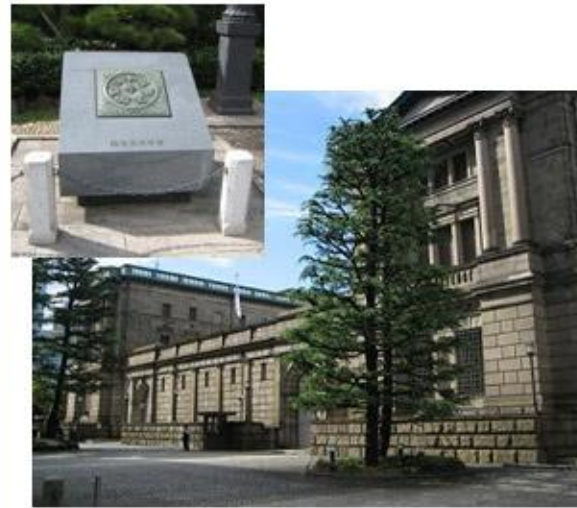


東京江戸散歩

その拾五 日本橋・人形町②



左上…日本国道路元標
下…日本銀行本店

写真・文 七海邦夫

江戸には、勘定奉行支配の下に貨幣の製造を行う銀行施設として金座、銀座、錢座が有りそれぞれ金貨幣、銀貨幣、銅貨幣を製造していた。

このうち金座があった場所が現在の日本銀行だ。江戸時代に小判を造っていた場所が日本銀行券、即ち紙幣の発行所になっていて巡り合わせが面白い。

日本銀行本店は明治二十九年(一八九六)の建物。石造建築に見えるが、実際には1階だけが石造、二・三階はレンガ建築で外側に花崗岩の板を貼り付けている。ドーム屋根や柱の形式などはネオバロック、窓はルネッサンス様式だ。歴史的建造物としても価値が高く、特に階段の手すりの

デザインは見事であり、階段単独で重文指定を受けている。

日本銀行本館の向いには日本銀行貨幣博物館があり、我国の貨幣の歴史を中心に様々な展示がなされている。最古の貨幣といわれる和同開珎や豊臣秀吉によって鑄造された世界最大の金貨といわれる天正大判などがある。

江戸時代にはこの日本橋の下を舟が行き交い大いに賑わった。この川は元々掘割だから特に名

◆編集委員会より

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。担当飯島迄お申し出ください。

世評・時評

「日本人初、米大リーグワールドシリーズ MVP の栄冠を手にする」

十一月四日、松井秀喜が最優秀選手(MVP)として表彰された。

ゴジラは英語で「GODzilla」と綴るが、神(GOD)が神殿から出て彼のバットにそれも真芯に降臨したかのようである。

ワールドシリーズでヤンキースがフィリーズを下して九年ぶりの優勝を

果たし、松井秀喜が日本人として初めて MVP の栄冠を手にした。

先制2ランホームランを含む4打数3安打6打点は、見事の一言に尽きる。万全の体調で迎えた

九月に左膝を手術し、オープン戦はリハビリで出遅れた。放出・移籍の噂が流れたこともある。辛い時期もあったろう。思えば、マリナーズのイチロー選手も今季、胃潰瘍から始まって大リーグ史上初の「九年連続2000本安打」という偉業を成

し迷っている。(天才とは際限なく苦痛に耐え得る能力を言うのか！)



膝の不安は今も抱えたままであると聞く。GOD様、愛称内もバット内も普くは留守にして、オフの間は膝の方にお宿りください。と本人に成り替わりファンとして



折っておきたい。おなみに本年日本では一月七日、読売巨人軍(東京)が、原辰徳監督のもと七年ぶりの日本シリーズを4勝2敗で日本ハムファイターズ(北海道)を破り二度目の日本一を決めた。MVPには捕手で主将の阿部慎之介が選ばれた。(ヨッチャン)

白画像

寺下 善恵(介護職)

十月より「葵」に勤務させて頂くことになりました。

今年の三月に家族の転勤で、九州よりこちらに引越して参りました。家族は主人と息子がふたりです。出身は桃太郎と瀬戸大橋で知られる岡

称があるわけではなかったが、日本橋と言う我国を代表する橋の下を無名のままにしておくことはないと考えたのかどうか、何時のころからか橋の下を流れる掘割を日本橋川と呼ぶようになった。つまり橋の名前が先にあり川の名が後から付けられたという変わった由来の川なのである。

日本橋の周囲にはいくつかの歴史的な見所がある。

先ず橋の南詰西側は江戸時代に高札場があったところだ。高札場とは、幕府などが政者が法律や決まり事を庶民に知らせる為に掲示した場所の事。江戸には大高札場が六箇所、小高札場は三十五箇所あったという。日本橋は人通りの多さから最も重要視された場所だ。高札場跡に立つ日本橋由来の碑はこの高札場の形を模している。

高札場の向かい、現在の日本橋交番の辺りが日本橋のさらし場跡。「晒」とは江戸時代の刑罰のひとつで、小屋掛けをして囚人を縛り付けさらし物にした謂わば見せしめの刑。晒刑に処せられたのは女犯の僧、心中未遂などだった。

橋の北詰西側には「日本国道路元標」と「東京市道路元標」。ここが日本国道路の起点と言う事になるのだが、実際の起点はこの場所ではない、橋の中央センターライン上にマンホールの蓋よりしく道路元標がある。東京市道路元標も同じく道路の中央に立っていたが、交通の障害になるので橋のたもとに移した。頭上を走る首都高速道路の脇に、道路元標の位置を示す標柱が宙に浮かぶように設置されている。

(続く)



写真と似顔絵を比べてみました。(編集委員会)

山県です。一日も早く皆様のお名前とお顔を覚え、お手伝いが出来ませう頑張りますので、宜しくお願いします。

(白画像は小4の息子に描いてもらいました。お笑い下さいませ。)

あこがれ
神戸新聞

柳生 昭子

一九二八年神戸灘五郷の(一)西郷(澤の鶴)に生を受け、三才に生家を陶器絵付けの工場とする為、三宮のお店(貿易商)の方へ移りました。

居留地の近く故、イギリス人、ドイツ人、インド人と学校から帰るとお友達は殆んど外国人です。馴れるまでは、身振り、手振りでも子供って早いもので、各国の遊び、日本の遊びを会得し趣向を凝らして楽しい日々を過ごす事が出来ま

したが、昭和十三・四年頃よりお友達が少なくなつて淋しくなり、戦争の為だった事を後になって知りました。

神戸は海と山に挟まれた住宅地が広がります。

春、秋は早朝五時に起され山登りです、薄明りの中祖父と父が提灯を各々提げて二度山、摩耶山へと登るのです、怖いのと楽しいのが入り交つて賑やかに登つたのを懐かしく思い出します。夏には海で父の特訓、お陰様で昭和二十一年より五年間美業団で背泳の選手として会社の為、自分の為に活躍したものです。

読者の声

横山 稔

平成二十二年も、日本のスポーツ界は一月二日(三日に催される第八十六回箱根駅伝で幕を開けます。東京箱根間往復217.9キロメートルを関東学生陸上競技連盟に所属する大学の精鋭達が力走する模様は、テレビやラジオ等で中継され、今やお正月の風物詩とさえ云われています。

はどの様にして付けられたのでしょうか。大正六年(1917)、読売新聞社が東海道五十三次をマラソンのリレーで結ぶ計画を立てました。その名称を...という事で、当時顧問の国文学者が言いました。「平安時代の史書に『駅伝貢進』(馬で荷物運搬)に『送進』(馬で荷物運搬)とあるよ」といふ言葉が有るよ」といふので、駅伝と送進を合わせたのが箱根駅伝になったのだと、昭和三十一年の第三十二回からです。年明けの第八十六回も、選手達の力走は治道の応援の人々ばかりでなく、テレビやラジオの中継でもフアンを熱狂させる事でしょう。



今迄の優勝回数五傑は

- 中央大 十四回
 - 早稲田大 十二回
 - 日本大 〃
 - 順天堂大 十一回
 - 日本体育大 九回
- ちなみに箱根駅伝が正月二日(三日)に開催されるようになったのは、昭和三十一年の第三十二回からです。年明けの第八十六回も、選手達の力走は治道の応援の人々ばかりでなく、テレビやラジオの中継でもフアンを熱狂させる事でしょう。

〇〇万ドルと称される目と心を癒すべく眼下に吸い込まれるような光の町並、多くの人々が支え合つて温かな光を作り出す見事な夜景に感動を覚えます。

あおい「雑壇」
小春日や
予定もなくて
毛糸編む
毛糸編む
料理に追われる年の暮
検診の
結果良好足輕し
今井 良子

落語
絹田 治夫

私は子供の頃からラジオ(まだテレビが無くて)演芸番組の落語、漫才、浪曲などをよく聴いていました。特に落語は大好きで勉強もしないで大きくなったら咄家になろうとさえ思った程でした。(笑)

大人になってからも暇を見つけてはあちこちの寄席(人形町末広、新宿末広、上野錦糸町演芸場、池袋演芸場)に好きな咄家さんの桂文楽、古今亭志ん生、三遊亭円生、桂三木助、柳家小さんなどが出ていればよく聞きに行っていました。

最近落語ブームが来た様で先日上野の方に掛けたら、大江戸線の中で若い女性が二、三人で錦糸町演芸場に行く様な会話をしていました。

高井 眞知男

今回も善盤と善石について面白い記事があったので御紹介しよう。

現存する日本最古の善盤は奈良の正倉院に納められており、聖武天皇が愛用したと伝えられている。この善盤の大きさは縦横49.0センチ、総高12.6センチで、現在の善盤よりやや大きく、高さの低いものである。これは単に古いというだけでなく、宮廷で使用されていたものに相応しい華麗な美術工芸品でもある。中でも木函紫檀善局(局は盤の意味)は盤の側面に象嵌された駱駝等の動物や人物、模様が中央アジアの風俗を伝えている。それゆえ、最初は東西交流の幹線であるシルクロードを通っての伝来品とさえ想像された。また、亀形の善石入れを内蔵する抽出しは、一方を引くと向う側の抽出しも出ると言う入念な細工である。

と黒で、黒石は橄欖岩、白石は硬玉製である。石の大きさは象牙製と硬玉製はともに直径1.6センチ、厚さ0.8センチで、直径と厚さが二対一の比率になっている。黒石の上下は安定をよくするために僅か部分が平面に加工されている。(参考文献増川宏一著「善法政大出版局」)

正倉院にあるような立派な善盤、善石は写真でしか見たことはないが、現代にあつては紫檀の善盤や象牙の善石などは夢のまた夢で、善石の白石は日向の蛤貝、黒石は和歌山県的那智川、三重県の新宮付近から出る本那智石が上物といわれている。徳川時代後期から明治時代初期には、三河の蛤貝が多く使われ、蛤貝の本場と云われていた。他で取れた貝でも三河産としないとい値良く売れた。明後期には三河の蛤貝も少なくなり、日向に大きな蛤があることがわかり、今では日向産が本場物といわれている。

善石も、どの善盤と組になっていたか不明であるが、善盤に劣らない美しく装飾されたものが納められている。ある一組は象牙製で、黒と白ではなく紅と紺に染められ、双方とも表面に花喰鳥の別ねほりが施されている。

石会社を始めた青山金次郎が、海軍軍人として軍艦千歳に乗り組んでいた時、たまたま軍艦連間がカリフォルニア湾外で座礁したのを救助にいった。その折、ブランチカーペー海岸に大きな良質の蛤があるのを発見し、艦長の許可を得て日本に持ち帰ったが、当時はまだ日向産の蛤が多く獲れていたもので、その儘にしてあったそうだ。大正後期には日向産の蛤も少なくなつてきて、青山氏は当時の外務次官植原虎二郎の尽力を得て、メキシコの蛤貝の輸入に成功した。輸入に当ってはカナダ州の日本人あわび業者に採取を依頼したが、ブランチカーペー海岸には行かず、別の場所の質の悪い蛤貝を送ってきた為、一時メキシコ産の評判が悪くなった。並物を作る員は何処からでも獲れる。現在も日向産といつても日向産でないものが多くあるという。御用心！御用心！(参考文献 神山潤著「善苦楽南北社」)

薬友の会
「麻薬大会」

十一月のイベント報告
十八日(水)「現代」にて十二名参加、優勝者は絹田さんでした。

《カラオケ会》
二十日(金)「愛海」にて十四名参加でした。

《歩こう会》
二十六日(木)「野川公園」にて八名参加、快晴の下の紅葉でした。

